

e-ビーフNEWS 北の牧場から

February 2021

十勝は大雪

雪が降らんなあという声が、お天道様に聞こえたのか、年明けに家の周りのは大きな雪山ができました。気温も低く乾いた雪?なので軽い軽い、除雪の足腰ダメージが少なく済んでいます。お天道様も最後の精算は、合わせてくるのだと感心。チョットお釣りが来そうですが。

キラキラ舞い落ちる雪の間も牧場の除雪でショベルが走り回ります。牛たちは、フワフワした新雪がうれしいのか、放たれるとわれ先と飛び出してゆきます。林間の新雪を楽しむバーダーのように。特に子牛たちは前足が駆け込み、後ろ足で蹴飛ばし雪煙を立て走ってゆきます。発情管理もお預け、暫し見るしかありません。

寒さは雪が降るときは緩みます。それでもマイナス8℃。今年が一番下がった年始の22℃からして「暖かい」気がします。このまま行くのではと勘違いしてしまいます。まだ大寒過ぎたばかりなのに気が緩みますね。毎朝の水槽の金づちと斧を使い氷を割って、お湯をかけての解凍作業も昨日はありませんでした。

へへへ気が緩んできた



活動のお知らせ

次年度に向けての課題整理、補助事業等の確認作業

NEWSばか読み

- セブンおにぎり 保存料を使わず消費期限を2倍に 食品ロス削減 12/30:技術革新
- 畜産物の輸出 最多ベース アジア圏の家庭消費伸びる 12/31:どこかで消費増
- 東京郊外への移住増加 人口流出1/3:コロナ禍で地方分散
- 新型コロナ変異種拡大で、日本からの入国制限国増 1/3:諸外国の対応の早さ
- アサヒビール 欧州の全工場再エネ100%炭素税導入対応 1/4:日本では
- シンガポール 食品テックの育成拡大 植物肉や卵 1/5:資源ない国は早い
- セブン 宅配の移動販売車を拡充1/5:コンビニも多様化に
- 消費センター コロナ禍でダイエット食品の相談急増1/6:そっちな
- エコフィード新基準 4月から食品残渣製造で加熱処理を厳格化 1/7:製造コスト影響
- 再度緊急事態制限 1都3県 飲食店の営業8時まで 1/8:この範囲で収まるか
- 厚労省 コロナ解雇8万人超え1/8:弱いものから
- 牛マルキン発動大幅減 内食好調枝肉相場アップ1/11:実体経済は
- 中華圏向け日本産米輸出拡大 コロナ禍で内食増加 1/11:これまた需要の変化
- 米国穀物協会 20年トウモロコシ生産記録的な高収量 1/13:なぜ上がる穀物相場
- 20年世界の小麦生産 最高水準 ロシア増産 1/14:できるところは自国生産
- FAO世界の食料価格上昇 コロナ禍で輸出抑制 1/14:緊急事態時の
- 12月外食売上高 減少幅拡大 年末かき入れ時に大打撃 1/14:立ち上がれるのだろうか
- イオン9-11月総合スーパー 営業利益が2倍に1/15:明暗

- 11月畜産物輸出増 5ヶ月連続 家庭内需要増 1/15:海外でも同じ状況
- 家計調査10-11月コメ需要 家庭内向けが苦戦 1/18:巣ごもりでもコメ消費が伸びず
- 種豚改良に育種価活用し繁殖能力向上に 1/18:改良目標設定が課題
- 三菱地所 丸の内地区ビルの電力を脱炭素化に 1/18:方向性が速い
- 群馬県沼田市 農福連携でドローン使い米作り1/19:ITで補完
- 政府 日本酒と焼酎をユネスコ無形文化財登録申請へ 1/19:輸出念頭に
- 北大 粉ミルクを発酵させ発酵代用乳生産1/19:常時生産可能に
- 野菜相場 メロン、大葉市況低迷 外食コロナ禍で 1/20:外食シェア影響
- 観光庁 20年訪日客87%減の411万人1/21:10分の1か
- クボタ デジタル農業を推進AIトラクター、ドローンほか1/21:進む
- コンビニ 昨年の全店売上4.5%減:お前もか
- 配合飼料高騰続く 供給原料価格の上昇で 1/22:何が起きているか
- JA全農 香港に炊飯設備 コメ輸出拡大で弁当生産拡大 1/23:末端まで供給体制
- 愛知県立大・農試 牛の鳴き声で個体識別 繁殖健康状態を把握 1/23:興味あり
- 農林水産省 輸出拡大に向け生産者、食肉施設、乳業、輸出業者との協議会設立1/23
- トウモロコシ国際相場7年ぶりに高値 中国豚増産や米国バイオ発電に1/26:そうか
- アキタフーズ献金問題 アニマルウェルフェア絡み 1/27:このせいにしてくれるな
- EU 20年に再エネが化石燃料をシェア逆転1/27:やればできる
- 農林水産省 小売飲食業者の国産有機サポーターズでロゴ募集 1/29:認知度向上
- JMILK 21年生乳生産予測750万T 3年連続1/30:上限あるのか

東京直近NEWS (1/29 Shi-REPORT)

ホルス

相場は大きな変動はないものの高値張り付き。補充買いの意図から相場は強めに推移しているが、部分肉の動きは全般鈍い。不要期と緊急事態宣言下の状況から量販向けアイテムの切落し需要は堅調だが、他部位は引合い弱く特に上位部位は価格も弱い。一部冷凍コースの間合せ等あるが、冷凍アイテムも一服状況であり、今後年度末へ向け在庫処分の可能性もあり。2月以降もイベント少なく歓送迎会需要も見込み弱く量販向け一択の販売状況が続くそう。

経産牛

経産牛相場は年始以降若干関東の市場では下落がみられる。相場的にはやや下げ基調の状況も、ガリ枝は下げていない。不要期と緊急事態宣言により外食需要が大きく減退しているため冷凍パーツの動きが悪い。カタコース、バラ等は価格次第の売れ行きで、ロイン系は厳しい状況。市中でも冷凍ヒレの案内は多く、赤身関係も余剰傾向。挽き材は内食需要に偏り一定数の販売は堅調も、年度末に向けて一部で価格対応品の案内情報もあり。コロナ禍での荷動きが非常に読めない。

1. 畜産技術#788.2021.1

1)特集草地・飼料作における獣害の実態と被害対策2.エゾシカ・ヒグマ(亀井利活、道総研産技環研)

野生動物による農林業の被害は日本全国に及び米や野菜のみならず、北海道の飼料作物などの農作物被害額は40億円を超えエゾシカやヒグマによる牧草やデントコーン・ロールベールサイレージなどの食害はわが国の飼料作物被害の90%に及びとされています。その防除対策は既存の野生動物管理より広範囲に連携した体制と技術開発が喫緊の課題です。

2)研究レポート1.ルーメン細菌叢から探る反芻家畜の生産性向上の可能性(小池聡、北大農院)

反芻家畜のルーメン内細菌叢への研究が進化して、次世代シーケンシングによる解析から普遍的に宿主栄養獲得に寄与するコアルーメン細菌叢が特定され、その後のルーメン細菌叢のゲノムDNA解読で細菌叢の75%まで遺伝子情報が解明されています。これらの成果を素に反芻家畜の生産性向上を目指してルーメン細菌叢のコントロールするために「ルーメン微生物プログラミング」の発想があります。ルーメン細菌叢の未定着状態の子牛に給与飼料で発酵パターンを人為操作しようとする試みですが未だ進行中です。

3)海外情報. 第66回国際食肉科学会議(ICoMST2020)(坂田亮一、日食肉研)

2020年米国オランダ開催予定のICoMSTは新型コロナ感染のパンデミックによりZoomによるオンライン開催となり、第68回ICoMST2022は神戸開催予定です。66回大会は2つの基調講演と12の分科会で構成され、以下分科会の項目です。

- 1)代替タンパク質
- 2)食品衛生
- 3)肉質評価の新技術
- 4)動物福祉(基調講演)
- 5)食肉の品質評価
- 6)全地球的な家畜生産の持続性
- 7)食肉および食肉製品の微生物汚染
- 8)食肉生産性向上
- 9)食肉加工;2題, 11)微生物叢
- 12)企業責任と社会貢献

栄養生理研究会報Vol.64,1・2

黒毛和種牛肉におけるミネラル濃度、物理化学的性状と官能特性の関連(北川貴志他、滋賀県農政水産部)

黒毛和種肥育牛の胸最長筋中8種類のミネラル濃度を測定し、多変量解析の一つである主成分分析を行って、官能評価値との相関関係を検討しました。寄与率39.3%の第1主成分を構成するMg,Mn,Fe,CuとZnは「良い牛くささ」や「風味の強さ」と正の相関や関連性及び赤筋型筋繊維組成割合を反映している可能性が示されました。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2020

話題提供1.「相場の影響を受けにくい経営をめざして」
生産者視点での新型コロナウイルス拡大の影響と対策全3回シリーズ③
北十勝ファーム有限会社 上田 金穂

東日本大震災・放射線問題
グループ会社(親会社)の倒産

- 出荷可能頭数180頭のうち、宅配業社の30頭と生協の18頭以外は販売先がない状況

自社販売の模索

- 飲食店
- 卸業者
- ブランド化とマーケティング



弊社の日本短角種の取引先

安定価格での販売
全て取引先
定期販売先の確保
生協、宅配業者、卸業者?
ブランド戦略
飲食店、スーパーマーケット、ギフト、卸業者
保険的販売先
家畜商等



これまでの取引から学んだ事

- チェーン展開の業態との取引は慎重に
- 現在の取引先に迷惑の掛かる取引先は断る
- 量販店とは取引しない(高級百貨店は除く)
- WINWINの関係を築けるよう取引先
- 販売先の分散
- 弊社との取引で利益を上げてくれる取引先
- 生産現場に足を運んでくれる取引先
- ブランド戦略(有名シェフの宣伝力)



取引先の得意先の新型コロナウイルスの影響とその対策

- 卸業者…まちの精肉店に助けられてる
- 飲食店…テイクアウト、単価は落ちているが量は増えている



アメリカ等と中国の問題を
どうとらえるか

- 米中の関係もライフスタイルに変化をもたらす
- 米中関係とコロナウイルスでの不況可能性
- 15年前から徐々に畜産物が買い負けしていた
- 中国が買えなかったら、買わなくなったら…
- 自由化の時と似ている…
- TPP締結後の関税引下げ



コロナウイルスが怖いのではなく
ライフスタイルの変化が怖い

- 一層コストを抑える努力
- スタッフの経営力向上
- 国の保険制度
- コロナ禍での生活水準が高い消費者を考える
- 有機JASへの取組
- 弊社の強みを深く理解する

これまでの取組を充実させながら
オリバラ後まで大きく動かない!



転載・再利用は固くお断りします